

「親の学習」プログラム

## 2-②

## 子どもの育ち・子どもの目線で見よう

私たちは、大人の目線で生活しています。ところが、世の中にはさまざまな目線でさまざまな世代が共生して暮らしています。子どもの目線にワープ。そのまま身の回りの世界を見てみましょう。いろいろな発見があるはずです。おもしろそうなこと、不思議なこと、怖いこと、それから危ないことなど…。

ワーク  
2

2人一組に分かれて、体験しましょう。ロールプレイで、保護者役と子ども役と両方の目線の高さを体験します。体験で気づいたことを書いておきましょう。



① 1歳児の身長75センチになって、目線を低くしてみましよう。どんなものが見えますか？



② 子どもの身長のまま、大人を見るとどのように見えますか？



③ 大人の身長で、子どもを見ると、どのように見えますか？

### 資料

#### 「わくわく・ときどき」が成長の証し

みなさんは、高さ75センチの世界から、何が見えましたか？ なんだか不思議な世界でしょうか？ 見慣れない風景に、もっと見たいなと思いませんか？

「見慣れないもの」、「めずらしいもの」に子どもは魅力を感じると言われています。(大人ももちろん同じですが。) 赤ちゃん実験で、見慣れないものに赤ちゃんがより注目するという研究結果も報告されています。

見慣れないものを見ると、「もっともっと」を言うのが子どもです。

おもしろいもの、わくわく・ときどきするものへの飽くことない探求が子どもの世界のおもしろさです。

そのために、大人にしてほしいこと！

「一緒に楽しむこと」です。そして大人の予想をこえたチャレンジもしますので、「目を離さないようにすること」です。

つまり、子どもの成長には、

子どもの目線から、子どもの成長を、わくわく・ときどきしながら支えてくれる大人の存在が、大切になります。

